

【総務省「地域情報化大賞2015」奨励賞】
ICTで地域包括ケアの更なる進化をめざす天かけるネットの取組
(天かける医療介護連携事業運営協議会【広島県尾道市】)

○取組前の状況

医療と介護とが一体化された
適切な情報共有システムなし



○取組の概要

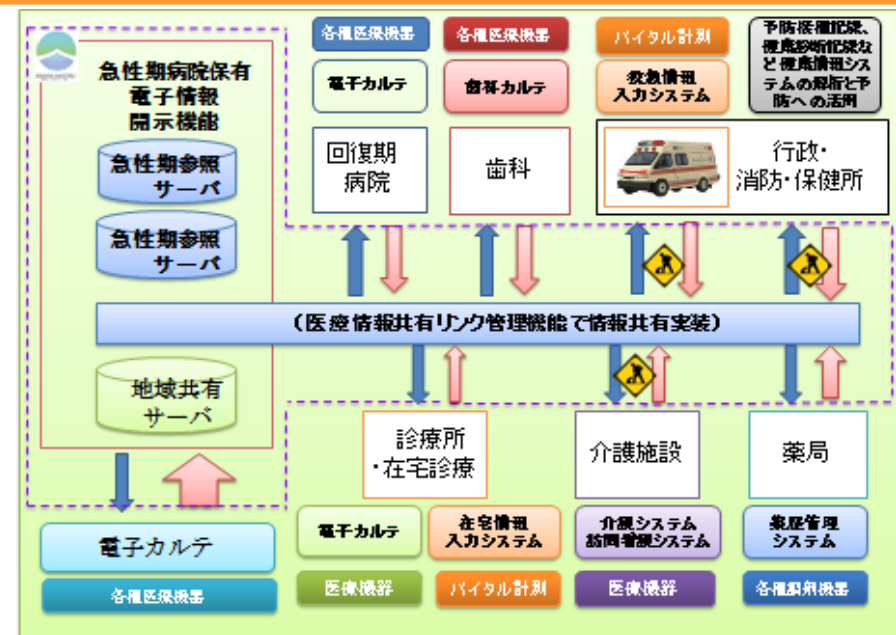
尾道市医師会方式として良く知られている切れ目のない医療・介護連携にICTネットワークを被せ、多職種協働の円滑な情報共有を目指す。

- ・医療に届く介護等の情報入力システムを開発
- ・壮年期の健康推進、健康寿命延伸を目的として健診情報等を連携させ地域包括ケアICTシステムを構築
→病気になるめよう（未病）、なっても重症化させない、介護予防も図り健康寿命を延伸。

取組の成果

住み慣れた地域で安心して暮らせる環境

- ・128施設参加：同意者数 約16000人
月別同意者数 300人 検査重複 11% 重複投与 4%
- ・尾道方式の神髄：ケアカンファランス前の客観的情報取得 閲覧情報：病状把握（93%（画像・検査・処方情報））
- ・ビロードケアシステム（多職種による医療情報提供）因島医師会 同意者数 約200名
- ・健康増進・健康寿命延伸 特定健診非該当者：4% 病人 6% 病氣予備群 病人の2/3は医療機関未受診
- ・地域包括ケアICTシステムの標準化



【参考】NPO法人天かける <http://amakakeru.jp/system.html>